



健康とやすらぎをクリエイトする
社団法人 日本サウナ協会

SAUNA

12月/353号

発行 社団法人日本サウナ協会
TEL 03 (5275) 1541 (直)
FAX 03 (5275) 1543
〒102-0085 東京都千代田区六番町1

第14回 全国オーナー・幹部研修会

(社)日本サウナ協会は、平成17年度「第14回全国オーナー・幹部研修会」を11月24日、「横浜みなとみらい万葉倶楽部」(神奈川県)にて開催、全国から140名の会員と賛助会員が参加し、研修会に臨んだ。



受付開始の午後1時を過ぎると、全国から会員・賛助会員が続々と参集した。“日帰り温泉旅館”をコンセプトにした施設とあって、受付には緑台と番傘がしつらえられ、研修会会場も「和」のイメージ。落ちついた雰囲気の中、午後2時から研修会が始まった。

まず、協会の組織強化部会長であり神奈川県支部会長の織茂明彦氏より、歓迎の挨拶と事前に集計されたアンケートについての報告がなされた。

次いで、中野憲一会長から「今年もっとも話題となった本施設で研修会が開催できることは非常にうれしい」と、会場を引き受けてくださった「横浜みなとみらい万葉倶楽部」に対する感謝の言葉があり、「昨今は温泉施設の大型化・複合化が進み、衛生管理に関する通知も広範な施設を対象としたものに変化してきています。当協会もそれに伴い、名称を『(社)日本サウナスパ協会』に変更したいと厚生労働省に事前審査を依頼しており、経過は随時報告します。今回は講演だけでなく、激戦区

である横浜の個性ある会員施設にも足を運び、業務にお役立ていただきたい」と開会挨拶が述べられた。

研修の中心である今年の講演は、万葉倶楽部(株)代表取締役社長・高橋弘氏「温泉業界のあれこれ」、(株)トリリオン代表取締役・木地本朋奈氏「温泉施設の差別化戦略」、(株)パシフィックスパ代表取締役・佐藤健氏「温泉施設におけるスパサービスのポイント」(2面掲載)。参加者は3時間を超す講演を真剣に聞き入っていた。

講演終了後は館内着に着替えて体験入浴などを行い、午後6時30分から宴会場に集結、約2時間の懇親会は大いに盛り上がった(3面掲載)。

横浜みなとみらい万葉倶楽部は宿泊施設も備えているため、夜中まで充実したウェルネス施設や飲食コーナーを体験する参加者が多く見られた。

研修会翌日の25日は、本紙10月号で紹介した横浜近隣施設の視察や、恒例となり第9回を迎えたJSAゴルフコンペで親睦を深めるなど、思い思いに横浜を満喫した。

ソウルでの「2005 東北アジアスパ会議」に参加

12月5日、ソウルにおいて東北アジアの温泉業団体による「2005 東北アジアスパ会議」が開催された。韓国、中国、モンゴル、そして日本が

ら中野憲一会長以下17名が参加し、中野会長は「日本の温泉産業の動向」について温泉施設の映像を映し出しながらの講演を行った。

今回の会議は今年10月に北京で開催された中国スパ協会発足会に参加した際に、韓国代表からソウルでの本会議の呼び掛けがあり、実現したものだ。

韓国チムジルバン協会の李湘従会長は歓迎の挨拶で、以下のように述べた。

「ようこそソウルへお集まりいただきました。韓国の温泉文化と新しいチムジルバンサウナが融合して行われる今回の会議は、温泉業界発展のため重要な意義をもっています。新しい時代に新しい産業が発展しますが、まさにチムジルバンは韓国の消費ニーズに適応し、国民が必要とするものと言えます。

私は温泉産業の発展のため、日本サウナ協会、中国スパ協会、モンゴル協会、それに韓国チムジルバン協会の4カ国でつくる東北アジアの温泉業団体の結

束を提案いたします。これから、この4カ国が頻りに情報交換を行うことが重要だと思っております」

本会議での決議事項として、本会議議長は持ち回りで行う、その開催国に1年間事務局を置く、2006年4月に中国・揚州、2007年日本、2008年モンゴル、2009年韓国の巡で開催することが決定した。

懇親会では、まさに国別大会のような雰囲気でも盛り上がった。各国の代表が自国の酒を持ち込み、乾杯の連続に耐え切れずダウンする参加者も出た。

また、ソウル郊外のオリンピック公園近くにある「ソウルレジャーセンターチムジルバン」と隣町の「スパクラブ・イーチョンランド」を視察したが、韓国チムジルバン協会の尽力により普段見られない施設まで見せていただける有意義な視察ができた。



懇親会で決議事項を発表し、歓談する各国代表。左からモンゴル協会会長、中国スパ協会会長、韓国チムジルバン協会会長、中野会長

なお、韓国で通訳をお願いした(有)カイトウ・後藤新平氏に大変お世話になりました。御礼申し上げます。(6面に関連記事)

チムジルバン

体を蒸したり暖めたりする部屋のことで、中に発汗のためのサウナやブルガマ、汗蒸幕などがある。

SAUNA新聞へのご意見・ご感想をお聞かせください。協会ホームページでもご覧になれます。http://www.sauna.or.jp/



全国の施設様でお使い頂いております 好評の化粧品シリーズ!

VECTEUR



【ヴェクトール】

スキッと香って残らない極微香・残香性ゼロの男性化粧品シリーズ

HEAT ENERGY



【ヒートエナジー】

ドライヤーの熱で、サロンの仕上り。ヒートコートプロテイン配合。

CRIESTE



【クリエステ】

全品角質除去成分“フルーツ酸”配合の自然派女性化粧品シリーズ

お問合せは全国のニトリ・カネボウレジャー代理店へ

総発売元: 日理株式会社

東京店/東京都荒川区東日暮里6-39-15 ☎(03)3803-1211(代)
大阪店/大阪府東大阪市長田東2-1-11 ☎(06)6746-5300(代)

懇親会

研修会後は会場となった「横浜みなとみらい 万葉倶楽部」での体験入浴を済ませ、午後6時30分より大宴会場にて懇親会が行われた。万葉倶楽部社長・高橋氏が音頭を取り乾杯。各参加者は万葉倶楽



部自慢の料理に舌鼓を打ちながら、名刺を交換し合ったり、杯を酌み交わしたりして親睦を深めた。また、賛助会員より自社製品の紹介があり、試飲する姿も見受けられた。

会の締めくくりには、来年の全国総会幹事を担当する埼玉県支部が登場。木所勝邦副会長をはじめとする代表者らが来年の抱負を語った。体験施設は350坪の麦飯石サウナを有する「光泉の森」、コンペは大宮GCで行うなどの説明に、埼玉県支部の意気込みが伝わってきた。

「今回は埼玉の全国総会で会いましょう」との呼びかけの後、関東ブロックを代表して東京都支部の林浩美会長による閉会の挨拶があり、盛況のうちに懇親会は終了した。

年末年始対策

忙しい時こそ火災予防に留意しましょう！

年末年始は火災予防の一層の強化と火気管理の徹底が必要な時期です。近年は不審者による放火火災の件数が増加しています。館内外の不審者には敏感に反応しましょう。防火管理者は安全対策を確立するべく万全を期し、他のスタッフの防火意識の向上を促してください。

忘年会 新年会シーズンは

急性アルコール中毒の多発期！

消防庁のデータによると、急性アルコール中毒で搬送される患者数は12月が一番多く、曜日別で多いのは土曜、日曜、金曜の順番です。年齢別では20代が半数近くを占め、そのなかの3分の1は女性です。多くは軽度のアルコール中毒で、搬送後ことなきを得ますが、なかには取り返しのつかない結果を招く場合もあります。

サービスに努める側としては、節度ある飲酒に注意を払うことが大切ですが、様子がおかしいお客様がいた場合は迅速な対応ができるよう、日頃から対処法を勉強しておくことを心がけましょう。

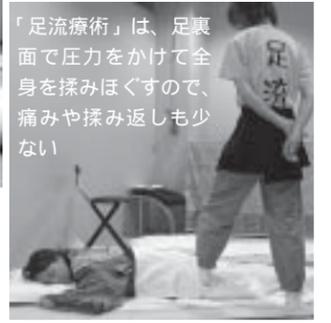
ウェルネス施設で売上の20%を狙うだけあって、「横浜みなとみらい 万葉倶楽部」には一度の来館では試せないほどのさまざまな内容のコースが揃っている



屋上の足湯に浸りながら美しい横浜の夜景を肴に飲むビールは格別。防寒着の貸し出しもしている



足のツボを刺激する「中国式足底健康法」は客に合わせた力加減で行ってくれる



「足流療術」は、足裏面で圧力をかけて全身を揉みほぐすので、痛みや揉み返しも少ない



宿泊用和室。高さが調整できるすぐれもの枕は販売もしている



「アロマエスティック コーラルラグーン」では本格的なトリートメントが体験できる

韓国式

美肌づくりはアカスリが基礎



アカスリおよび韓国漢方美顔エステの委託業務

お腹まわりの気になる方に「腹部エステバック」

ホームページURL: <http://www.kurara-body-clean.com> Eメールアドレス: info@kurara-body-clean.com

申潤玉 著 毎日新聞刊



株式会社 クララボディクリーン

代表取締役 申潤玉



名古屋本社

〒450-0002

愛知県名古屋市中村区名駅4-23-9名駅Jビル3F A号室

TEL:052-541-7207 FAX:052-541-7208

東京事務所

〒135-0047

東京都江東区富岡1-14-15 和楽ビル1F

TEL:03-3820-4313 FAX:03-5245-1598

◇体験できる営業店◇

●ホテルマリックスラグーン内2F 韓国漢方美顔エステコーナー
〒880-0021 宮崎県宮崎市清水町3-105
TEL:0985-38-5000

●SPA GALA (旧ラッキー健康ランド) 2F
韓国漢方美顔コーナー クララ
〒485-0045 愛知県小牧市川西3-7
TEL:0568-76-7337

甕仕込みと木桶蒸留。 喉越しと余韻。

本格焼酎『鐵憲 (てっけん)』は『手造り焼酎』である。

本格焼酎 鐵憲 一升 (1.8l) ¥2,900 (税込)
四合 (720ml) ¥1,900 (税込)

※別途送料をいただいております。

全国で御愛飲いただいております！

料飲店様用にも出荷しております！お電話にてご相談ください！！



Honkaku Shochu Tekken since 2004

お問合せ さつま郷本舗株式会社 〒890-0008 鹿児島市伊敷五丁目17-5 TEL099-229-1116 FAX099-220-5338

講演要旨



万葉倶楽部(株) 代表取締役社長 高橋 弘 氏

私は熱海の酒屋の長男に生まれ、6年間家業を手伝ってから写真屋に転業しました。DTPサービスの日本ジャンボを興しましたが、デジタルカメラ時代の到来による業態の変化を予測し、

10年前から温浴施設を始めました。

きっかけは町田インター付近の土地を銀行から勧められたことでした。はて何の事業ができるかと考え、「行楽帰りにひと風呂」をヒントに、平成9年に「東京・湯河原温泉 万葉の湯」をオープンしました。家族で温泉に行くとかなりのお金がかかりませんが、日帰り施設を作れば気軽に使ってもらえるだろうと考えたのです。熱海出身ですから湯にはこだわり、湯河原に所有する源泉から毎日新しい湯を運びました。

町田店が大当たりしたので、その後全国的に店舗を増やし、今年6月「温・泊・食・癒し・健康・ビジネス」を柱に「横浜みなとみらい 万葉倶楽部」をオープンしました。8館目の当館はこれまで培ったノウハウのすべて盛り込んだ、いわば集大成ともいえる都市型温泉総合レジャー施設です。和の空間でお客様に至福の時間を楽しんでいただけるよう、宿泊施設も設けました。

高橋 弘 氏

1935年生まれ。静岡県立三島南高等学校商業科卒業後、家業の高橋酒店に従事、1957年アルプス写真(現・日本ジャンボ)創業、写真のDPE事業を展開、1997年万葉倶楽部(株)創立



(株)パシフィックスパ 代表取締役 佐藤 健 氏

弊社がスパコンサルタントとして出発した時点では、スパという言葉は、我が国ではほとんど認知されていませんでした。

しかしそのわずか4年後の現在は、女性を中心に80%の方が、スパに対して「癒される」「健康になる」といったイメージを持つようになりました。

スパの定義は各業界によって異なりますが、本講演では「日本スパ振興協会」の定義により「美と健康の維持・回復・増進を目的として、温浴・水浴をベースに、くつろぎと癒しの環境とさまざまな施術や療法などを総合的に提供する施設」とします。

ただ、この定義では長くて覚えにくいので「水を利用することで健康と美しさを総合的にサービスする施設」と理解していただければ十分です。

定義でもわかるように、スパは多様な複合的施設で、以下の6つのカテゴリーに分類できます。

ディステーション・スパ
ダイエットやストレス、禁煙プログラムなど目的を持った滞在型スパ
リゾート/ホテル・スパ
リゾートやホテルに併設されたスパ
デイ・スパ
宿泊施設を伴わないスパ
クラブ・スパ
フィットネスやジムで体を鍛えるためのスパ
メディカル・スパ
ヨーロッパでは予防医学的側面を考えたスパを指し、アメリカではシワ取りなどの美容整形をするスパを指す

また、会議などで横浜にいらしたビジネス客のためJobセンターを設けました。光ケーブルをはじめDVDやコピー機を備えているので、会議後に普段オフィスにいるのと同じように書類をまとめてまた翌朝の会議に臨むことができます。

全国の温浴施設は急増しています。1992年は3800件でしたが、2002年には6738件、証券会社が行った最近の調査によると8000件余りあるそうです。それだけ事業が厳しくなっているわけですが、幸い当館の滑り出しは順調です。

7～10月間の集計では客単価が6000円強と、かなりの高額を維持しています。これは宿泊施設がある

ことと、当初から売り上げの20%はウェルネス施設からあげようと考え、10社のテナントとサービススタッフ全170人で対応している点が実を結んだのだと思います。土地取得に27億円、建築費42億円、その他什器備品で総額80億円かかりましたが、10年での返済を予定しています。

最近株価が上がっています。この動きは本物かと疑っている方もいらっしゃるでしょうが、本物です。5回目の大景気のスタートではないかという見方さえあるほどです。オーナーや幹部の皆様には、日々心を新たにして挑戦する気持ちを持ち続け、ご自分の夢を叶えられることを念じております。

温・泊・食・癒し・健康・ビジネスを柱にした横浜みなとみらい 万葉倶楽部



(株)トリリオン 代表取締役 木地本 朋奈 氏

大型温浴施設の設備水処理を中心としたサービスエンジニアリングビジネスを展開させていただくなかで、常々繁盛法則と感じていることがあります。

まず、サービス業として施設の新旧に関わらず、「整理」「整頓」「清潔」「清掃」「躰」の“5S”が行き届いていること。そして、事業で得た利益を継続的にお客様に還元することが、繁盛の不可欠要素だと思います。金額の決め方や用い方はいろいろありますが、何らかの形で施設に手を加え美しく保つことが顧客満足に直結するわけです。

この2つは古今東西当たり前のこととも言えることなのですが、これに対し近年必要になった繁盛法則も存在します。最近の外資系会社や運営会社などの手法であり、見聞きしてきたものを整理すると大きく分けて5つの法則になります。

1つめは、経営数値を詳細に分析し、教育制度により担当スタッフに理解させ、仕事に対するモチベーションを高め、その成果を人事評価制度に連動させることです。自分を明確に理解してもらうには、成果の指標となる経営数値を認識してもらうのが一番です。

2つめはマーケティング分析やIT活用を重要視すること。今後この業界には外資系組織や飲食関連業など市場分析に長けた異業種からの参入が想定されます。それに対抗するには、マーケティングを見極めることは欠かせません。他社に依頼してでも強化する必要があります。

ミネラル・スプリング・スパ
温泉、鉱泉、海水を使ったスパ

ヨーロッパではスパを日常的な健康管理施設として、助成金など国の大々的なバックアップにより数十億円規模のプロジェクトが進行していました。しかし現在、高額な設備投資や国の補助打ち切りなどによりそれらの施設は潰れ始めています。

一方、アメリカのスパ市場規模は1兆3000億円以上、この4年で倍増した巨大ビジネスです。ニューヨークでは1998年からほぼ1年半の間で、デイ・スパ(都市型スパ)が倍増しました。

日本も高ストレス社会となり「癒し」が求められているので、今後「万葉倶楽部」さんのようなデイ・スパの需要はますます増えるでしょう。そしてそういった日本の市場に世界中のスパ企業が進出のチャンスを狙っているのが現状です。

3つめはコンセプトに一貫性を持たせること。「強みを徹底的に強化し弱みはぼかす」ことを意識しなければ、同じ経費をかけてリニューアルしても他社との差別化はできません。

4つめは現場主導のスピード経営をすること。現場で発生した問題や改善点は現場で解決し今後を生かし、顧客満足に生かすことができるよう、ある程度の決裁権を現場に与えている事業所が伸びています。

5つめは感動レベルのサービス業を目指すこと。こう言うときの程度の顧客満足かがわからず、「そのための経費はいくらかけますか」というような質問が返ってきます。顧客満足と経費削減は相反することのようですが、「経費は一切かけず、知恵と工夫で顧客満足を徹底させる」と明言し効果をあげているオーナーさんもいます。大切なのは「どこまで」の感動レベルなのかを、社内に明確に伝えることです。

インターネット社会になり、お客様の目が肥え、声が強くなりました。それに伴う時代の変化に驚かされますが、それだけにこの5つは21世紀型サービス業には必要不可欠な繁盛法則だと思うのです。

木地本 朋奈 氏

1965年生まれ。1987年慶応義塾大学法学部卒業。1993年(株)トリリオン設立、大型温浴施設の安全衛生・省エネルギーエンジニアリングサービスを行う

スパのキーワードは、「甦らせる、若返らせる、リラックス、楽しむ」の4つで、複合的なサービス業です。しかし未整備な業界のため、職に就く人の資格もあやふやです。携わる人をどのように育てるかということは、今後大きな課題となるでしょう。

サウナ協会さんがサウナ・スパ協会に名称変更されたあかつきには、ガイドラインなども含め業界の整備を期待する次第です。

佐藤 健 氏

2001年(有)パシフィックスパ・コンサルタンツ設立、2003年(株)パシフィックスパに改組。アリゾナ州スパアカデミーなどで「スパマネジメント/オペレーション」プログラム認定資格取得。BABTAC会員、ISPA会員、日本スパ振興協会会員

「2005東北アジアスパ会議」参加報告

延べ床面積1万坪!

ソウルレジャーセンターチムジルバンサウナ

ソウル最大規模のチムジルバンを視察

「2005東北アジアスパ会議」の前に、ソウル市郊外のオリンピック公園近くにある「ソウルレジャーセンターチムジルバンサウナ」と隣町の「スパクラブ・イーチョンランド」を視察した。前者は韓国チムジルバン協会会長・李湘従氏(写真右)の施設でもある。普段は見られないところまで見せていただきながら、詳細な説明を受けた。



「ソウルレジャーセンターチムジルバンサウナ」は、2004年4月にオープンしたソウル最大規模の温浴施設。

温浴施設を中心に、インドアゴルフ、エアロビック、アスレチックなどを有する会員制スポーツクラブを併設した、地下3階、地上7階、延べ床面積1万坪の大型総合レジャー施設だ。

従業員200名のほか、テナント従業員150名が働いている。ソウル郊外のオリンピック公園付近にあり、市内循環バス4台を朝夕を中心に運行して来場客を運ぶ。

平日の入館者は4000人、日曜や祝日には6000人が来館する。客構成は女性客が80%、男性客20%の比率で推移し、スポーツクラブには2000人が会員登録している。

1階にはフロントと更衣室、浴室(汗蒸幕、スチームサウナ等)がある。

2・3階は広大なチムジルバン(オンドル)で、全面大理石フローリングでできた広場がある。そこでは数本の大きな丸太を背もたれにして、来場客がくつろいでいた。広場の周囲には各種サウナや天井から雪が降り注ぐ人工降雪室、ドリンクコーナー、マッサージ室、映画室など、さまざまな施設が取り囲む。

3階にある仮眠室には木製のカプセル風2段式ベッドがあり、内部に遠赤外線効果がある石が貼ってある。しかし、床がチムジルバンになっているためか、床に横たわっていた来場客の方が多かった。

ここは複合型温浴施設なので日本の健康ランドと似てはいるが、来場客はより積極的に汗をかこうとする目的意識を持っているように感じた。また、場内のいたるところに寝転んでリラックスしている様子は、オンドル文化を背景とする韓国ならではのものなのかもしれない。

事務局



汗蒸幕を視察する参加者たち。かなりの高温のため服のままはつらい。



3階仮眠室は全面チムジルバンなので床で寝る人も多い。アーチ型小部屋の内側はそれぞれ異なる玉石が貼られた玉石チムジルバンだ。



日本ではまだ少ないカプセル型石盤浴



2階にある全面大理石フローリングの広大な休憩広場



サウナあれこれ 延長戦

第6回 発汗浴を年表風にしてみると

ギリシアの風呂

中山真喜男 サウナ管理士講師

- 前1600年 中国で殷王朝成立。
- 前1500年 この頃、アリア人が西北インドに移住。
- 前1350年 エジプトではツタンカーメン王の頃。テル・エル・アマルナ遺跡の浴槽は、縁が低く5cmくらいの水しか貯められないので、召使が水をかけて使ったものようです。
- 前1250年 この頃、トロイア戦役。モーゼに率いられたイスラエル人がエジプトを脱出。

古代ギリシアの偉大な詩人ホメロスは前700年頃の人で、『イリアス』『オデュッセイア』の2大叙事詩を残しました。物語の時代はこのトロイア戦争の時で、簡単にいえば『イリアス』はトロイア軍と遠征してきたギリシア連合軍との戦争物語です。

『オデュッセイア』は、ギリシア軍の勇将オデュッセイア(いわゆるユリシーズ)が、家の子郎党を率いてトロイア遠征の軍に参加して戦争に10年、その後故郷のイタケに帰るまでの10年、帰ってからは留守中に若く美しい妻のペネロペにいい寄った近隣の領主たちを皆殺しにする物語で、映画などでもおなじみだと思います。後世単なる夢物語とされていたホメロスの叙事

詩を子供の時に読んだシュリーマンが、学会の冷笑や無視のうち、世間からも狂人扱いされながらもトロイアの遺跡を発掘し、大金持ちになったことは有名です。シュリーマンは一発屋の山師ではなく、堅実な実業家で、若くして財をなし、それを遺跡発掘に投じたようです。

『イリアス』の中では何度か入浴場面が出てきますし、『オデュッセイア』でもギリシア軍の総大将アガメムノンが凱旋して風呂に入った時に、妻のクユタイメストレと留守中に妻と通じた情夫アイギストスに殺される話もよく知られています。

この頃の風呂は、三脚の鼎の下で火を燃やして湯を沸かし、それを浴室に運んで金属製の浴槽に注いで快適な温度になるまで冷やされます。

浴槽といってもドボンと浸かるタイプのもではなく、大きな水盤のようなものだったらしいのです。頭から湯がかけられ、体を洗うと肌にオリーブ油を塗り込み仕上げりとしたようです。

- 前1027年 中国で周の武王が殷の紂王を討ち、殷は滅ぶ。
- 前930年 イスラエルではダビデの子・ソロモンが王位を継承。

- 前776年 伝承ではギリシアで第1回オリンピック競技会開催。
- 前753年 伝承ではローマ建国の年。
- 前750年 ギリシア各地にポリス(都市国家)が成立。

ギリシア人は公共浴場を作った最初の民族の一つといわれます。トロイア戦争の頃の入浴は前述しましたが、ホメロスの『イリアス』『オデュッセイア』の成立が前730年で、それ以前の浴場施設が発見されているそうです。

もともとギリシア人は温かい湯に浸かるのは贅沢で退廃的なことだと考えていたようで、きれい好きではあるが入浴を楽しむということはなかったらしい。

ギリシア社会の教育の中心だった「ギムナシオン」で、若者は体育訓練、円形プールでの入浴、談話室での哲学談義などが日課だったようで、清潔第一という感じでした。

ヘロドトス(前484~前425年)の時代には、スチームバスもあり、男女別々の機能的な浴場も建設されています。この頃には床下に空間を設けて熱気を通す床暖房式の発汗浴室もあったようです。

新会員紹介 (敬称略)

次の企業が当協会に加盟されました。
よろしくお願ひいたします。

正会員(12月1日入会)

泉興業株式会社

店名 楽天地天然温泉 法典の湯
代表者 大柴忠邦
所在地 千葉県市川市椎井町 1-1520
TEL 047-338-4126
FAX 047-339-6350

正会員(1月1日入会)

ヒーリングヴィラ株式会社

店名 ヒーリングヴィラ印西
代表者 原島敬之
所在地 千葉県印西市草深字原 2131
TEL 0476-47-6611
FAX 0476-47-6613

正会員(1月1日入会)

有限会社フューチャープランニング

店名 ウルトラ銭湯 ゆらっくす
代表者 金田未来
所在地 広島市安佐南区伴東 1-1-13
TEL 082-848-4126
FAX 082-849-5788

今月より正会員にスーパー銭湯が入会されます

東京都支部より

サウナ&カプセル 池袋プラザ店を
「英語でしゃべらナイト」が取材

去る12月5日に「サウナ&カプセル 池袋プラザ店」(東京都豊島区)が、NHK総合テレビ「英語でしゃべらナイト」の取材を受けました。

同番組は毎週月曜23時15分から始まる人気番組で、今回は新春スペシャルのため、俳優・石田純一さん(写真中央)がリポーターを務めました。「外国人から見た東京の観光スポット」として、外国人観光客の宿泊施設としてサウナ&カプセルの利便性を外国人向けに紹介します。

ビジネスホテルと比較して価格が安価であり、ほとんどのカプセルホテルにサウナが併設されているため大きなお風呂でゆっくりくつろげ、日本のサウ

第9回 JSA ゴルフコンペ

オーナー・幹部研修会の翌日は第9回JSAゴルフコンペ。千葉の名門カメリアヒルズCCで開催され、快晴のなか、気持ちよくプレーができた。

優勝は木地本朋奈氏(トリリオン)、準優勝は岡崎太市氏(ニューウィング)、第3位は長友和幸氏(仁丹ファインケミカル)という結果になった。

また、同時に行われた神奈川県支部のコンペは、織茂涼子さん、織茂明彦氏ご夫婦のワンツーフィニッシュで終わった。

来年埼玉で開催される全国総会の翌日のJSAゴルフコンペは第10回記念大会となるので、広く参加を募りたい。

キリンビール、アサヒビール、ヤクルト本社のご協賛、ありがとうございました。



JSAゴルフコンペの参加者ら(上)。優勝は研修会で講演した木地本氏(下中央)、準優勝の岡崎氏(同左)、3位の長友氏(同右)

愛知県支部より

浜松で例会・忘年会・ゴルフコンペ

11月29日、愛知県支部(森信仁会長)はバーデンバーデン(浜松市)において、年末年始に向けて話し合う例会と忘年会、翌日にゴルフコンペを開催しました。

例会では、年末年始の営業予定と特別料金や次年度の新料金と企画等について、各店から発表がありました。正月の特別料金の代わりに平日招待券(1ヵ月有効)を贈呈する店舗が何店もありました。各店とも年末の年越しそばや年明けの振る舞い酒など、企画は盛りだくさんのようです。

また、鳥インフルエンザの対策について、国など行政機関が行う指導通知をいち早く提供してほしい旨の要望が出ました。さらに、ロッカー荒らしの事例と対策などについても意見交換がされました。



翌日の浜松シーサイドGCでのコンペは、優勝・栗原大和氏(サウナガント)、準優勝・岩村龍明氏、第3位・山下和芳氏(かきつばた)の結果となりました。
報告・事務局

KIRIN

KIRIN'S ORIGINAL BEER
DRAFT BEER
KIRIN BEER
一番搾り

キリン一番搾り

飲酒は20歳になってから。お酒は楽しく、ほどほどに。

大塚製薬

のどをうるおすだけの飲料ではありません。

POCARI SWEAT

Asahi アサヒビール

これが辛口、うまさが違う。

洗練されたクリアな味・辛口。
SUPER "DRY"

Asahi 生
スーパードライ
350ml

ビール飲酒は20歳になってから。ほどよく、楽しく、いいお酒。あざかんはリサイクル

アサヒビール株式会社

汗話休題

懐かしい時代のオンドル文化



オンドル文化と日本の温浴事情をご存じの(株)クラボディクリーン代表の申潤玉さん(写真)に、幼い頃に体験した温浴・オンドル事情をうかがいました。

私が子供の頃は各家庭にお風呂がなかったため、月に2度ほど母が銭湯に連れて行ってくれました。当時は銭湯にサウナ施設はなく、お風呂はいつも人がいっぱい。皆がきつく絞ったタオルでゴシゴシと自分でアカスリをしていました。

貧しい時代でしたが、どの家庭にもオンドルは必ずありました。暖を取るだけでなく、風邪の時には母が火を強く焚き、汗を出すように言われました。

オンドルは実に合理的にできていて、台所の竈の余熱が熱源でした。床は石板と土で作られているので保温効果が強く、夕食の準備を始めると部屋全体がポカポカになり、長く温かさが持続します。一番寒い時期でも、夜食にサツマイモなどを蒸した後は朝まで余熱で温かく過ごせました。

父が遅く帰る日はご飯をフタ付き容器に入れ、布団をかけて保温したものです。また、友達が遊びに来ると部屋の真ん中に布団を置き足を入れて日本のこたつのように使うのですが、あまりに気持ちよくてそのまま昼寝ということもしょっちゅうでした。

温度管理が簡単なオンドルは韓国では欠くことのできない居住文化で、一年中役立っていました。石や岩の上に黄土を塗り固めてその上に和紙を貼っているため、夏は床がひんやりしている効果もあります。

黄土や岩盤の遠赤外線などが体に良いと言われ始めたのは最近ですが、私たち韓国人は幼い頃から岩盤浴やチムジルバンを使っていました。先人の知恵には頭が下がります。(談)

「2005東北アジアスパ会議」参加報告

韓国スパの源流は「オンドル文化」にあった

世界各国のスパはそれぞれの気候風土による歴史があるが、韓国の場合は温浴施設の中心となるチムジルバンにその特徴が濃く表れている。本会議中、韓国スパ戦略研究所所長・韓榮俊氏による

「韓国のお風呂文化の源流を訪ねて」という講演が行われた。韓国スパの成り立ちを理解するうえで非常に役立つ内容であったので、韓氏の協力を得て図とともに紹介する。

講演 韓国のお風呂文化の源流を訪ねて

韓国スパ戦略研究所所長 韓 榮 俊 氏

韓国のお風呂文化の特徴を定義すると、大きく3つに分かれます。

第1は肌を清潔にする洗身(アカスリ)文化、第2は入浴の文化、第3は床を温めて室内も高温に維持し発汗を促進させるチムジル(オンドル)文化です。

韓国語の「チムジル」という言葉の意味は「蒸す」こと。「チムジルバン」は直訳すると「蒸し部屋」となります。チムジルバンは生活の一部としても親しまれており、今では世界的にも知られる単語となりました。

韓国独自の文化としてチムジルバンを理解するためには、それを生み出した居住及び生活スタイルの2つの歴史的特徴を知る必要があります。

一つは、韓国は中国と日本の間にある国ですが、その両国にはない独特の暖房方式であるオンドル文化があり、これが蒸し部屋文化に影響を与えたと考えられます。もう一つは、陶磁器を焼くためのドーム形式の窯を有する「窯元」に、現在の蒸し風呂の原型を見ることができることです。

チムジルは、焚き口で火をおこし、火気が部屋の下を通して部屋底全体を熱くする暖房装置です。この文化は

韓国以外にはない、独自の暖房文化として中国の古代文献にも登場します。

冬は焚き口近くが暖かくなり離れるほど低温になることから、人は焚き口を足に向けて寝たようです。チムジル文化は「頭寒足熱」という漢方の基本原理を忠実に守る居住文化であり、先祖の知恵が現在の蒸し部屋文化を生んだのだと感じます。

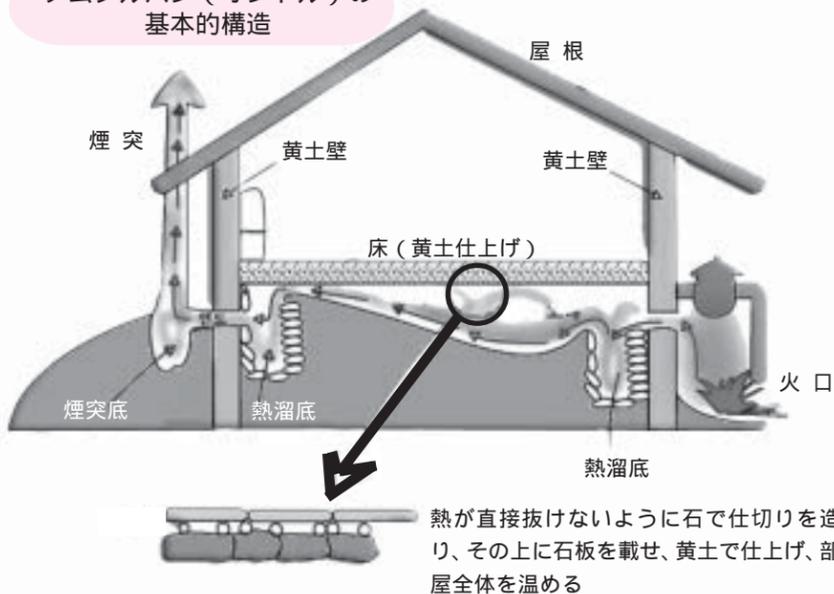
「窯元」を通じてみたチムジル文化

陶磁器を焼く文化は新羅の時代から現れ、そこで働く陶工たちは無病長寿の人が多かったようです。主に遠赤外線を出すと言われる黄土という材料でドームができており、釜焼きが終わり温度が下がり始めて陶工たちが陶器を出し入れする際、藁で作ったムシロを塩水にぬらして水分を切ったものを被って入ったのが始まりと言われています。

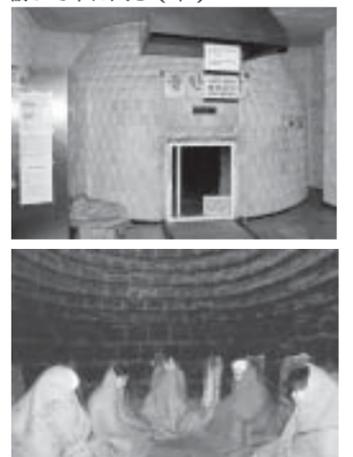
この蒸し風呂(汗蒸幕)は、村単位でつくることを国家が奨励し、その後個人でも作るようになり、民間医療施設がなかったその時代にはとても良い民間医療として多くの人が使ったと伝わっています。

現在の汗蒸幕にも黄土が主材料として使われていますが、熱源としては、釜の中で木を直接焚くのが伝統的な手法とされています。

チムジルバン(オンドル)の基本的構造



現在の汗蒸幕(上) 裸ではられないほど高温なので麻製の布を頭から被って中に入る(下)

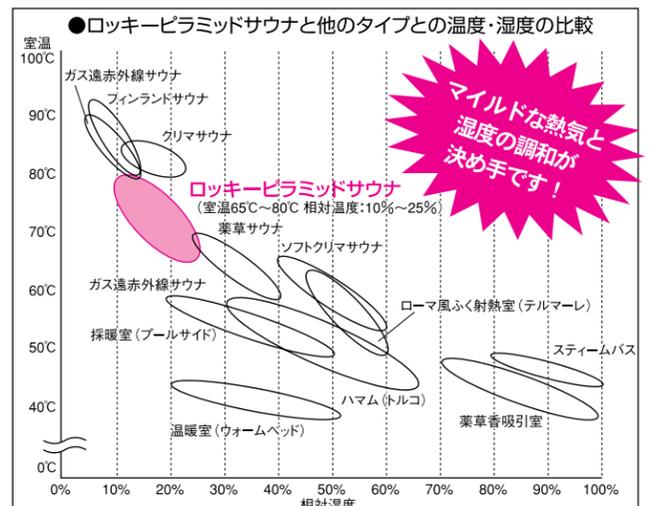


エネルギー・フロンティア TOKYO GAS

天然ガスがひらく未来

いまどきのサウナは「マイルドしっとり」系

カッとするような熱さと肌に刺激的な高温サウナに替わり、いま身体にやさしい中温湿式の「ロッキーピラミッド」が評判です。室温は65℃～80℃の中温にキープ。水打ちされたサウナストーンからはたっぷりの蒸気が立ち上がります。これからのサウナは、高温に耐えながら汗をかくマニアックなものではなく、女性やお年寄りも楽しめる「マイルドしっとり」系の「ロッキーピラミッド」サウナです。



東京ガス株式会社 都市エネルギー事業部 TEL.03-5322-7559